

# はまだ 市議会だより

Vol.12

2008年(平成20年)11月1日発行



浜田市民歌

呼びかける風に

五十川式部 作詞  
小六禮次郎 作曲

一 広がる空を 共に仰げば

歌はあふれる 緑の大地

手をのべ 呼びかける

さわやかな風に 花はほほえみ

あたらしい風に 歩め明日へ

浜田 わがまち 地球といきるまち

二 眩しい海に 汽笛高鳴り

希望ははたく 魚は躍る

手をのべ 呼びかける

はれやかな風に 心ひらいて

あたらしい風に 歩め明日へ

浜田 わがまち 笑顔つどうまち

三 連なる山に 森に流れに

恵み豊かな 優しい故郷

手をのべ 呼びかける

ふくよかな風に 人よ輝き

あたらしい風に 歩め明日へ

浜田 わがまち 文化かおるまち

浜田 わがまち 地球といきるまち

浜田の四季景観100選から「遠足」 田橋町 藤井博美氏 撮影

## 平成20年9月定例議会

議会のあらまし .....	P 2
こんな事業・条例を可決しました .....	P 3
視察報告 .....	P 4
一般質問 .....	P 5～8

# 平成20年

# 九月定例議会

平成20年9月浜田市議会定例会は9月1日に招集され、9月19日までの19日間の会期で開かれました。市長から提出された決算認定15件、条例関係14件、財産の譲渡など7件、補正予算7件、人事案件5件の案件について審査を行いました。また、議会側からは、条例1件、会議規則1件、請願8件、意見書6件を提出しました。これらについて審査を行った結果、決算認定を除く他の議案について原案のとおり可決、同意しました。なお、決算認定（平成19年度）議案については、11名の議員で構成する決算特別委員会を設置し、審査をすることになりました。

本会議で審議された

## 主な議案の内容

▼ **浜田市廃棄物の処理及び清掃等に関する条例の一部を改正する条例について**

ごみ処理手数料の額の改定等を行い、平成21年4月からごみ袋料金を値上げするものです。

ごみの減量化対策を十分に後に負担増を求めるべきではないか、燃油高騰対策等の補助施策と値上げとの整合性はどうか、諸物価が高騰し所得が増えないこの時期になぜ値上げをするのか、新ごみ袋の形態や現ごみ袋の活用等について多くの質疑がありました。審査の結果、賛成多数で原

案のとおり可決しました。

## 〔予算関係〕

▼ **平成20年度、浜田市一般会計補正予算（第4号）**

補正予算は、6月の補正予算編成後に新たに生じた急を要する費用や事業費の確定等に伴い不用額が見込まれる事業等について調整するもので、歳入歳出それぞれ2億3022万7千円を増額するものです。

予算審査委員会では、ふるさと体験村改修事業、地域交流プラザ整備事業、リフレパークきんたの里整備事業、小学校・中学校耐震診断事業に質疑が集中しました。審査の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

## 〔人事案件〕

▼ **浜田市教育委員会委員の任命について**

任期満了に伴う同委員の任命について、次のとおり同意しました。

○藤本孝男さん（旭町木田）

＝再任

▼ **浜田市公平委員会委員の選任について**

任期満了に伴う同委員の選任について次のとおり同意しました。

○島津 博さん（上府町）

＝再任

▼ **浜田市固定資産評価審査委員会委員の選任について**

任期満了に伴う同委員の選任について次のとおり同意しました。

○吉浦 宏さん（蛭子町）

＝再任

○小野善道さん（金城町今福）

＝再任

○小川明夫さん（長浜町）

＝新任

〔可決した意見書〕

▼ **新たな過疎対策法の制定に関する意見書**

▼ **地方財政の充実・強化を求める意見書**

▼ **貧困の連鎖を断ち切り、市民生活を底上げすることを求める意見書**

▼ **地域医療を守る医療提供体制の確保に関する意見書**

▼ **漁業用燃油高騰に対する緊急支援措置を求める意見書**

▼ **不安定就労者や低賃金労働者の雇用関係の改善を求める意見書**

○決算認定の審査を、10月3日から9日の間で行うことに

なりました。

決算特別委員会の委員は次のとおりです。

- 委員長 鎌原ヤシエ
- 副委員長 道下 文男
- 委員 佐々木豊治
- 委員 三浦 保法
- 委員 渋谷 幹雄
- 委員 西村 健
- 委員 大谷 弘幸
- 委員 角田 勝幸
- 委員 江角 敏和
- 委員 岡田 治夫
- 委員 島本 謙利

## 〔訂正〕

「市議会たより」8月1日号のP2において、全国並びに中国市議会議長会表彰を受けられました美浦美樹議員の名前に誤りがありましたので、お詫びします。

# こんな事業・条例を可決しました

## ① ふるさと体験村改修事業 事業費 26,689千円

経営改善計画では、体験村が地域に貢献しながら地域住民に必要とされる施設になることが求められていますが、今回はログハウスの改修や風呂の熱源改修工事、どぶろく製造機購入で、現在進行中の事業の充実をはかろうとするものです。

## ② 地域交流プラザ整備事業 事業費 59,997千円

矯正施設の開所に合わせ、旭インター近くに、農林業の振興・地域の活性化・高齢者の生きがい対策のために、約120坪の産直市場と自由市場からなる、地域の人が「満足と喜びを実感」できる拠点施設を整備しようとするものです。

## ③ 漁業用燃油高騰対策事業 事業費 9,256千円

漁業に関して、燃油価格高騰が及ぼす影響は甚大であり、使用する燃油に直接補てんすることで、浜田市の意味と姿勢を国に示し、国の燃油高騰対策の拡充を促すことを目的とするものです。期間平成20年10月1日～翌年の3月31日まで。

## ④ リフレパークきんたの里整備事業 事業費 104,154千円

この施設には、市が整備し管理運営してきたものと、(株)リフレッシュかなぎが、増築や整備した露天風呂や宿泊棟が混在しているため、今後の指定管理者制度の導入のために、それらの施設を市が買い取ろうとするものです。

## ⑤ 小学校中学校耐震診断事業 事業費 72,920千円

国府・石見・今福・松原・有福・市木の6つの小学校と、第一・第二・弥栄・旭の4つの中学校につき、国の財政支援拡充もあり、耐震2次診断を行って、小中学校の耐震性を把握し、今後の耐震改修工事に役立てようとするものです。

## ⑥ 浜田市陸上競技場整備事業 事業費 21,272千円

地盤等の変動により、日本陸上競技連盟の公認競技場として更新できない状況であり、グラウンドの高低の調整・走路の不陸整正・全天候ライン塗装・標示タイルなどの整備を行って、4種公認競技場の更新を受けようとするものです。

## ⑦ 浜田市住民基本台帳カードの利用に関する条例

住民基本台帳カード（住基カード）を利用して、証明書自動交付機から、住民票の写し・印鑑登録証明書・所得課税証明書を交付する浜田市独自のサービスを市民に提供するために、必要な事項を定めた条例です。

## ⑧ 浜田市廃棄物の処理及び清掃等に関する条例の一部を改正する条例

浜田市環境清掃対策審議会の答申をもとに、ごみの排出抑制と受益者負担の公平性確保、廃棄物処理経費の財源確保（ごみ処理経費の15%）のために、ごみ処理手数料（ごみ袋）を値上げする条例です。施行期日平成21年4月1日 値上げ前購入のごみ袋の使用期間は22年3月31日まで。

# 視察報告

## 議会運営委員会

- 実施日：5月8日(木)～9日(金)
- 視察地：鳥取県南部町  
鳥取県米子市



南部町視察状況

### ■議会基本条例による議会活性化を目指して

議会運営委員会として、市民の視点に立った市政運営の活性化が求められている。自治体の政策形成能力と議会の果たす役割について「議会基本条例」を制定している南部町を視察した。

議会基本条例の特徴点は①政治倫理を規定、②議員間の討議を規定、③町長等の質問権の規定を骨子とするものである。

本市では、議会政治倫理条例は制定をしたが、南部町議会は政治倫理を含む基本条例の内容である。町長の反問権は、根拠のない質問等抑制効果が期待でき、執行部もしっかりした発言になると説明を受けた。議員間の討議や町長の質問権は、言いっぱなしの感がある本市にとっては新鮮な制度であり、一考に値するものと感じた。当市議会においても、質問・発言の裏づけに基づく妥当性・客観性・先見性などさらなる質的向上が問われている。新市誕生以降、議会の活性化・議会改革は確実にうごいている。今回の視察を糧としてさらに強化する。

記 委員 新田勝己

## ■杉並区の教育行政の取り組みについて

教育行政の取り組みについて教育委員会では、平成16年度に杉並区教育ビジョンを策定し、その推進計画をもとに民間人校長の任用、杉並師範館の設立、学校支援本部の設置、校舎のエコスクール化等の先進的な取り組みを行っている。また、この取り組み状況を受け、今後学校現場の変革への支援を重視し、「教員の資質向上・力量形成」「学校経営を支える人的支援」「地域との協働」を中心にしたさらなる「教育ビジョン推進計画(平成20年～22年度)」の策定を目指していると、説明を受けた。

杉並区の教育に対する情熱の注ぎ方や、教育委員会委員・職員の取り組みの真剣さに対し脱帽したところであった。

当市においても、杉並区はもとより常に先進事例を参考にしながら、教育行政を進めていくべきと感じた。

記 委員長 西田清久

## 総務文教委員会

- 実施日：4月21日(月)～23日(水)
- 視察地：東京都杉並区  
岩手県遠野市  
岩手県滝沢村



遠野市森林総合センター

## 福祉環境委員会

- 実施日：7月2日(水)～4日(金)
- 視察地：福井県小浜市  
静岡県掛川市  
愛知県北名古屋



小浜市最終処分施設

### ■福祉環境の先進地の取り組みについて

小浜市での視察は今年4月から供用開始されている被覆型の一般廃棄物最終処分場でした。生湯町に建設される被覆型の浜田市不燃ごみ処理場と同型の施設で、浜田市においても将来にわたって地元住民を含めた管理、監視体制の整備が必要であると感じました。

掛川市では年4回の市議会定例会が開催されますが、12月定例会は政策議会と位置づけ、中・長期的な課題を集中論議され、ごみ減量大作戦を打ち出したり、いち早く幼保一元化に取り組んだり、掛川市の行政・住民が一体となった対応の素早さに感心しました。

北名古屋市では思い出あふれる(回想法)事業を調査しました。高齢者が懐かしい生活道具等を教材にして、スクールの中で元気に思い出を語り合い、介護予防や認知症予防を図り、地域づくり・人づくりを推進するという全国の自治体の中での最初の取り組みでした。

今後視察の成果を、浜田市行政に反映させていきたいと思えます。

記 委員長 三浦保法

# 一般質問

16人の議員が市政を質しました。

## 農業振興について



三浦美穂

**質問**  
① 今農業は、高齢化や後継者不足、耕作放棄地問題など深刻な状況にあるが、振興策を伺う。

② 産直市を核とした地産地消の取り組み状況・農業施策決定の場に女性の参画を推進すべきと考えるが所見を伺う。

**答弁**  
① 農林業支援センターを中心に関係機関と連携して、担い手育成と確保に努めている新規就農者、認定農業者の相談、助言を行っている。集落営農組織については、リーダーの育成、地域との協議、法人化への相談、指導に取り組んでいる。

② JAいわみ中央産直「きんさい市」の店舗整備、旭自治区に野菜パイプハウスの新設整備を予定している。女性の参画は、大事な視点である。

その他の質問  
浜田市民歌の普及について

## ごみの減量化対策について



三浦一雄

**質問**  
① ごみの減量化には、多くの課題が残されている。条例では、自動販売機横に回収容器設置が義務付けられているが、現状は未設置が多く見られ不法投棄の要因となっている。設置者への指導は考えられないか伺う。

② マイバッグ持参運動が進む中で、コンビニエンスストアでは完全に等しい位に持参が無い。持参率の調査と啓発活動は考えられないか伺う。

③ マイバッグの日を設定する考えは無いか伺う。

**答弁**  
① 各地域の環境清掃指導員と連携を図り、設置事業者に対し直接指導を行う。

② 島根県が実施する『しまねCO<sub>2</sub>ダイエット作戦』へ参加をいただき、レジ袋削減に努力されている。

③ 来年度のごみ収集計画表にマイバッグの日を記載する。

## 今後の行政組織改革について



川神裕司

**質問**  
① 最近では年功序列による管理職昇格に対して批判があるが、面接、論文、管理職に必要な知識を含め昇格試験を導入する考えはないか聞きたい。

② より幅広く優秀な人材を登用するために「新規職員採用試験」の年齢制限の撤廃に関する所見を聞きたい。

**答弁**  
① 昇任試験は全国の18%の自治体で実施さ

れている。今後は、昇任・昇格の公平性・客観性を高める新システムづくりを推進する中で検討したい。

② 専門的な知識・技能を有する職員採用は十分配慮する必要がある。しかし、職員の年齢制限は「長期の継続勤務による職務能力の開発・向上」の目的達成の手段として、今後も継続していきたい。



浜田の四季景観100選から「田んぼのまつり」三隅町上今明 大畑秀人氏 撮影

国民健康保険料の値下げの断行について



渋谷 幹雄

質問

島根県内の他の7市の国民健康保険会計の基金残高は、財政規模を合わせると、どこも5億円前後なのに、浜田市は他市の4倍の21億円と、異常な残高である。国保料金の決定は、国の機関委任事務から自治事務に変更され、決定権は地方自治体に移った。

その結果県内でも、出雲市は、加入者の保険料負担の軽減のために平成17年度に1億5千万円、19年度に2億円の基金を取り崩している。

浜田市も、市民の命と健康を守るために21億円もある基金を取り崩して国保料を値下げし、諸物価高騰で非常に生活が厳しくなっている浜田市民を救うべきではないか。

答弁

検討したい。

その他の質問

- ① 浜田港の港湾機能の充実
- ② 教育振興の具体的計画策定

今後の財政運営と事業実施について



江角 敏和

質問

- ① 街づくりの財政的な裏付けである中期財政計画に示された55億円の削減方針を問う。
- ② 図書館を含むシビックコア事業の実施見通しを問う。
- ③ 長浜小学校建設の基本プランとスケジュールを問う。

答弁

- ① 物件費・補助費で55億円の削減はかなり厳しいため手数料等にも範囲を拡大し、10月中に計画を策定したい。
- ② 国の関連施設の合庁化建設が同時期には難しい中、浜田市独自で23年度から図書館建設を中心に事業実施ができるよう具体化させたい。
- ③ 改築検討委員会(仮称)を設置し、地元の要望等を踏まえた基本計画を本年度中に策定する。21年度で実施設計を策定、22、23年度で建設工事、24年度の開校を目指したい。

その他の質問

- ① 地域医療等の充実について

子育ての支援、市民サービスについて



道下文男

質問

- ① 幼稚園の民営化は認定こども園も含め、もっと慎重に検討すべきではないか。
- ② 働く保護者への支援のために、放課後児童クラブの開設日を拡充すべきではないか。
- ③ 「安易な中核病院での初診は多額の負担がかかる」「ゴミの分別収集の徹底は、市へ多額の収益をもたらす」など、市民サービスの一環として、市民への周知徹底を図るべきではないか。

答弁

- ① 法改正により、幼児教育・保育園のあり方について協議している。
- ② 来年度からの実施も含め、本年度中に調査研究をする。
- ③ 市民への啓発の必要性は認識している。今一度、周知について検討し、市民サービスの向上を図りたい。

その他の質問

- ① 雇用創出への産業振興を

災害に強いまちづくりについて



平石 誠

質問

- ① 土砂災害対策について
- ② 森林伐採・木材搬出に対する指導状況を問う。
- ③ 土砂採掘等、無届けの行為に対する指導状況を問う。
- ④ 土砂災害警戒区域内の避難所に対する安全対策について問う。

答弁

- ① 届出により状況を把握し、植林等後処理方法の指導を実施している。
- ② 配慮不足による造成行為などは、県と連携し、適切な行政指導を行い、無秩序な乱開発を未然に防止している。
- ③ 安全対策工事は種々の理由で困難なため、防災ハザードマップの全戸配布、比較的安全な避難所の早期開所、防災メールによる避難の早期呼びかけ等の対策を講じている。

その他の質問

- ① 水害対策について
- ② 災害体制の検証について

環境問題について



佐々木 豊治

質問

- ① 当市の「クールアースデイ」実施の総括と、今後の日常化に向けた取り組みを問う。
- ② 太陽光発電推進の考えを問う。
- ③ レアメタルの安定確保の観点で、携帯電話リサイクルの推進の考えを問う。

答弁

- ① 当市では6項目の取り組みを実施し、温暖化に対する意識の高揚が図られたと感じる。今後、各項目を継続的に実施する。
- ② 国・県等の導入支援策の動向を見極めながら、一般家庭などへの導入に向けた普及啓発に努める。
- ③ 資源の有効利用に理解を求めるために、「ごみ分別早見表」と併せ、広報や市ホームページを使用して、啓発する。

その他の質問

- ① 健全化判断比率の数値が示す意味合いについて

農業の活性化  
について



三浦 保法

質問

当市においても人口減少や少子高齢化が進み、中山間地域での耕作者の減少に伴い、耕作放棄地が目につくようになってきた。今後、小規模農家の活性化について、どのように取り組むのかを伺う。

答弁

小規模農家の生産意欲を高

めるためには、地産地消を推進することが重要な課題であると考えている。このため、小規模農家を取り組みやすい少量多品目の生産と、農家自身価格設定できる産直市への出荷体制を支援することで農業の活性化に努めていく。

また、浜田市農林業支援センターでは担い手支援チームを編成し農業生産支援活動を行っているが、今後は一般農家や女性農業者を支援するチームを組織して、経営や運営指導、農地や地域を守る対策等の相談も行っていく。



浜田の四季景観100選から「夕暮れ」港町 中山淳氏 撮影

学校統廃合問題  
について



木村 正行

質問

① 学校統廃合審議会答申の説明会は夏休みまでに実施する方針だったが、その現状と、年度末とした「統廃合計画」の策定期間に変更はないか。  
② 国は統廃合のための新基準に着手、平成22年度以降市町村で検討の方向である。住民協議期間を保障すべきだ。  
③ 小規模校を尊重し住民合意の原則を明記した「昭和48年・通達」の認識を問う。

答弁

① 対象の8校で保護者説明会を実施し、参加者は31%。住民説明は多少遅れたが、予定どおり計画策定したい。  
② 国との整合は必要だが、住民合意を得てすすめた。  
③ 「通達」の留意事項は尊重すべきと認識している。

その他の質問

① 有害鳥獣対策について  
② 放置されている危険家屋対策について

交流都市『浜田』の  
制定について



西田 清久

質問

① 浜田港を活かした貿易・漁業施策について問う。  
② 浜田自動車道を活かした経済交流施策について問う。  
③ 観光資源や伝統産業等を活かした人の交流施策について問う。  
④ 合併後、広域となった新浜田市のキャッチフレーズに交流都市『浜田』を制定してはどうか問う。

答弁

① ロシア貿易も加えて貿易の拡大を図る。ポートセールスの継続実施で県外船の浜田漁港への水揚げ促進を図る。  
② ウラジオストクとの航路開設により注目度が増した浜田港のPRを山陽側に行う。  
③ 広島市に対しては、広島PRセンターと連携して交流事業をさらに促進する。  
④ 交流都市『浜田』となるよう意識の醸成、経済交流を推進していく。

認定子ども園  
について



鎌原 ヤシエ

質問

「あさひ子ども園」は、来年4月に開園予定であるが、既に子育て支援センターとして利用されている。この園は「保育所型」を予定され、保育に欠けない子どもに対しても、国等の補助がないため、運営上不安ではないか。市の考えと今後の見通しを問う。

答弁

国は、認定子ども園制度の普及促進等に関する検討会を設置し、財政支援や制度改革を検討している。市はその動向を踏まえ検討したい。



(あさひ子ども園)

景気低迷の現状認識と  
行政支援について



新田 勝己

**質問**  
① 地域経済の現状認識について問う。

② 漁業は、3割が廃業しかないと言われている。「水産浜田」にとって大打撃だ。対応策を問う。

③ 集落営農の米生産が採算割れになる。見通しと対応策を問う。

**答弁**

① 燃油高騰や物価上昇、公共事業の減少等、経済は依然として厳しい状況が続いていると認識している。

② 燃油へ直接補填は、市の意志と姿勢を国に示すと共に、産地の責任として水産物の安定供給をアピールし、国の対策拡充を促したい。

③ 米価の低迷や原油価格の高騰により厳しくなっている。新たな作物導入や経営管理のきめ細やかな支援を行なう。

その他の質問

地域の医療体制について

農業振興について



大谷 弘幸

**質問**  
① 浜田市農林業支援センターについて問う。

② 農業振興計画について問う。

③ 集約化・共同化について問う。

**答弁**

① 農業を取り巻く環境は悪化し経営は厳しい状況にあり、今後は支援マニュアルを作成し、裾野を広めて対象者の支援を推進していく考えである。

② 来年度から3年間の振興計画は行政と農家との一体的取り組みが重要であり、協働で策定して、説明と理解を求めつつ推進に努める。

③ 中山間地域の水田農業は深刻な状況で、農地の集約先や作業の受託先の組織体制づくりは重要であり、その体制づくりの支援を推進する。

その他の質問

地域での福祉推進について

雇用促進住宅の購入について



西村 健

**質問**  
① 国の雇用促進住宅全廃・売却方針に対し浜田市は、購入方針を表明したが、この間の入居者の反応はどうか。

② 文書以外に何の説明もない雇用能力開発機構のやり方に入居者は、不信・不満を抱いている。早急に説明会を開催すべきと思うがどうか。

③ 管理運営が市に移行後、入居条件に変更があるか。

**答弁**

① 10年経過後は、廃止・解体を前提に建て替えは行わないとされているが、市営住宅整備計画に変更があるか。

② 購入方針公表前に2件公表後に2件問い合わせがあったが、安心していただいているものと認識している。

③ 市との合同説明会の開催を開發機構に依頼している。

④ 家賃を含め、大きな変更が生じないようにしたい。変更は考えていない。

公的年金の一元化について



岡田 治夫

**質問**  
昭和59年2月の公的年金制度二元化に関する閣議決定について、地方自治体のリーダーである市長の所見を問う。

**答弁**

公的年金制度の一元化の目的は、負担と給付の公平性、安定した年金財源の確保、年金業務の合理化・効率化であると認識している。公的年金制度が、国民の老後の所得保障の中核を担う制度としての役割を果たし、制度をゆるぎないものとするための改革は必要不可欠であると考えている。

その他の質問

① 国民年金及び被用者年金の負担と給付の格差について  
② 国保と被用者保険の負担格差について  
③ 医療保険制度の一元化について  
④ 燃油高騰対策の基本的考え方について

あとがき

9月定例議会では、総額2億3千万円の一般会計補正予算案など48議案を可決しました。  
指定ごみ袋代金を来春から値上する条例改正案の採決があり、福祉環境委員会では否決でしたが、本会議では賛成多数で可決されました。

また、待望の島根あさひ社会復帰促進センターが完成し、10月19日の開所式を前に、9月20日には記念碑の除幕式と市民への施設見学会も行われました。県内外から4千人を超える皆さんの参加があり、近代的な明るいイメージの大変きれいな施設に驚きの声がありました。

なお、議会に対する市民の関心が高まっている今日、益々充実した議会だよりを発行するために努力したいと思います。  
記(委員) 山崎 晃

議会広報広聴調査

特別委員会

- |       |       |       |      |       |      |       |       |       |    |
|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|----|
| 委員長   | 委員    | 委員    | 委員   | 委員    | 委員   | 委員    | 委員    | 委員    | 委員 |
| 洪谷 幹雄 | 鎌原ヤシエ | 佐々木豊治 | 平石 誠 | 新田 勝己 | 山崎 晃 | 田村 友行 | 三浦 一雄 | 原田 義則 |    |

【議長なんでもメール】

議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。必ず議長自ら回答させていただきます。(住所・氏名を明記の上、送信ください)  
E-mailアドレス: [chairman@city.hamada.shimane.jp](mailto:chairman@city.hamada.shimane.jp)